

守りのプロがアドバイス ALSOK

あんしん教室[®]



ALways Security OK

 **ALSOK**

■ ALSOK あんしん教室とは

ALSOKの経営理念にある「ありがとうの心」を基に、「社会の安全・安心の確保」のために取り組む社会貢献活動です。

～経営理念～

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

2004年頃、小学生を標的とした犯罪が多発し、大きな社会問題となっていました。

ALSOKが警備会社として、1人でも多くの子どもの命を守るためにできることは何か考えた結果、「守りのプロ」であるガードマンを小学校に派遣して防犯を教える「ALSOK あんしん教室」が誕生しました。



■活動体制

・地域の治安情勢を熟知している、ALSOKの社員が任意で活動に参加しています。現場のガードマンから管理部門まで幅広い職種から、男女関係無く活動しています。

・社内講師育成のため、独自の社内規定（あんしん教室マスター認定制度）を定め、指導、研修、社内試験を実施しています。

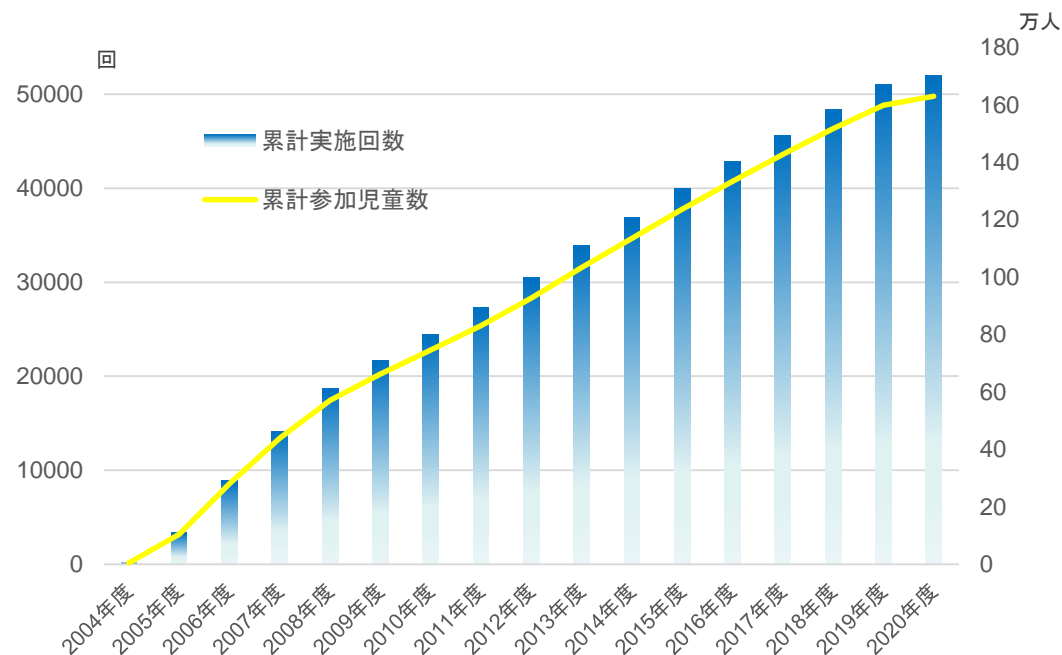


↑あんしん教室マスター認定証（Ⅰ～Ⅲ）

■活動実績

活動開始から間もなく多数の学校から要請をいただき、毎年約3千回、約10万人の児童に対して授業を行っています。

累計参加児童数：1,753,468人
累計実施回数：56,116回
(2022年12月末時点)



■授業内容（防犯・防災）



①安心して登下校（低学年向け）

警視庁が開発した安全標語「いかのおすし」を基に、ロールプレイ形式で体験しながら危機回避の心構えを学ぶ実践的な防犯授業。

「いかのおすし」

しらないひとは、ついて	いかない
こえをかけられても、くるまには	のらない
しらないひとにつれていけそうになったら	おおこえをだす
こえをかけられたり、おいかげられたりしたら	すくにげる
こわいことあったり、みたりしたら、すくにおとな	しらせる



②安心してお留守番（中学年向け）

当社オリジナルの覚え言葉「いいゆだな」を基に留守番をする前の注意点を学ぶ。

さらに、留守番中に大災害が発生した場合の危険予測や、災害用伝言ダイヤル（171）の使用を想定した伝言練習などを行う授業。



いいゆだな

- い** えのカギを見せない！
- い** えのまわりをよく見る！
- ゆ** うびんポストをチェック！
- だ** れもいなくてもただいま！
- な** かに入ってすぐとじまり！

↑覚え言葉「いいゆだな」。

～先生方の声～

「実践的な授業であった」「緊張感と楽しさのある授業」「指導案、教材、講師の質が良い」「制服を着たプロによる授業は説得力があり、児童たちも最後まで積極的に参加していた」と好評を得ています。また、学校、保護者から「授業を受けた子どもが被害を未然に防ぐことができた」との感謝の手紙などをいただいたこともありました。

■授業内容（防犯・防災）

③わたしたちができる防災ってなんだろう（中学年向け）

防災に特化した授業を2023年4月から提供開始。児童が、自らの命を守る行動を考えることができる授業。

さまざまな状況下におけるリスクと災害発生時に取らなければいけない行動や心構えを伝える。

さらに、留守番中に大災害が発生した場合の危険予測や、災害用伝言ダイヤル（171）の使用を想定した伝言練習などを行う授業。

授業の振り返りシートでは、保護者と「家族防災会議」を行うきっかけを提供。家族全員で防災に対する意識向上を図る。

【紹介動画はこちらから↓】

ALSOK公式Youtubeサイト

<https://youtu.be/Xr4HE-4ntxo>



～先生方の声～

「実践的な授業であった」「緊張感と楽しさのある授業」「指導案、教材、講師の質が良い」「制服を着たプロによる授業は説得力があり、児童たちも最後まで積極的に参加していた」と好評を得ています。また、学校、保護者から「授業を受けた子どもが被害を未然に防ぐことができた」との感謝の手紙などをいただいたこともありました。



④安全な街って何だろう（高学年向け）

仮想の街の地図を題材に、危険な場所とその理由、対策を考えるグループ学習。地域安全マップ作りの事前学習として活用できる。



⑤安全にインターネット（高学年向け）

インターネットを介した犯罪やトラブルを未然に防ぐための基礎を、グループ学習と発表を通じて学ぶ授業。ワークシートの「暗号解読ゲーム」を解くと、2つの覚え言葉が明らかになる仕掛けが施されている。



情報を発信するときの合い言葉

書き込む前に「か・き・く・け・こ」をチェック!

- か** 顔がはっきりうつっていないか
悪意を持った人に狙われるきっかけになる。また、肖像を勝手に使用されるリスクがある。
- き** 禁止されていることではないか
著作権、肖像権など社会のルールについて知り、違反しないよう注意する。保護者としての約束は必ず守る。
- く** 暮らしている場所が知られてしまわないか
住所はもちろん、自分の生活圏が知られてしまう情報を載せない。写真を写りこむ背景にも注意が必要。
- け** ケータイ番号など連絡先を教えても大丈夫か
自分の連絡先を知らない人に教えたり、公開してはいけない。これを騙し取ろうとする買もあるので注意。
- こ** 困ってしまう人がいないか
書き込むことで、誰かを困らせたり、迷惑をかけてしまわないかよく考える。場合によっては炎上などのトラブルに発展することもある。

チェック
OK!



情報を受け取ったときの合い言葉

「あ・く・ま・が・で・た」ときは、相手にしないで、うちのの人に相談しよう

- あ** 会おうといってきた
インターネット上でしか知らない人に会いに行くのはとても危険なので、誘われても絶対に会ってはいけません。
- く** (URLや添付ファイルなどを) クリックさせようとしてきた
メッセージ内のURLや添付ファイルには気もある。安易にクリックするのは危険。
- ま** (知人に) 回すようにいってきた
チェーンメールなどは友達に回さない。悪質なURLやファイルが含まれていると、自分が加害者になってしまう。
- が** 画像を送るようにいってきた
頼まれても絶対に自分の画像を送らない。画像が他人の手に渡ると二度と消せなくなる。
- で** 電話やメールで連絡させようとしてきた
架空請求や、間違いメールを装った詐欺に注意。連絡すると、自分の連絡先が悪い人に知られてしまうことになる。
- た** タダであげるといってきた
うまい話で興味を引き、個人情報を騙し取ったりトラブルに巻き込まうとする真に気をつける。



■授業内容（救急救命）



非医療従事者によるAEDの使用が認められた2004年以降、AEDは急速に普及しました。ハードが普及する一方で、その使用方法や心肺蘇生法の教育機会が不足していることが社会的課題となっています。

当社では、警備サービスや防犯授業を通して培ってきたノウハウを活用し、心肺蘇生法とAEDの意義や使用方法を教える授業「**人の命を助けるって何だろう**」を、2012年度より開始しました。

当授業では、心肺蘇生に関する一連の体験を通じて、「生命の尊さ」について考えるきっかけを与えるとともに、命を救うためには「思いやりの心」と「一歩を踏み出す勇気」を持って即座に行動すること、周囲にいる人と協力し合うことが重要であることを伝えます。



▲胸骨圧迫の姿勢を確認します。



▲AEDの使い方や、主な設置場所について説明します。



▲心肺蘇生法の一連の流れを体験します。

～先生方の感想～

- ・小学生にもわかりやすい内容で、非常によい体験ができた。
- ・教職員の間でも救命に対する意識が変わった。
- ・AEDの存在は知っていても、学校のどこにあるのか、何に使うかを知らない児童もいたので、よい教育機会となった。

～児童の感想～

- ・初めて胸骨圧迫をやってみて、見た目は簡単そうだったが、やってみると難しかった。
- ・隊長が最後に話した、「勇気」と「思いやりの心」が大切だということ、ずっと忘れません。

■ 主な受賞暦

- ・ 2007年 2月 企業フィランソロピー大賞 特別賞（地域の子ども安全賞）受賞
- ・ 2007年 9月 朝日企業市民賞 受賞
- ・ 2007年 11月 あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣官房長賞 受賞
- ・ 2012年 4月 救急救命授業「人の命を助けるって何だろう」編 提供開始
- ・ 2013年 11月 「ALSOKあんしん教室」累計参加者数100万人突破
- ・ 2014年 7月 第8回 キッズデザイン賞 受賞
- ・ 2015年 1月 文部科学省 青少年の体験活動推進企業表彰 審査委員会奨励賞 受賞
- ・ 2016年 3月 " (2年連続受賞)
- ・ 2018年 11月 「ALSOKあんしん教室」累計参加者数150万人突破
- ・ 2019年 1月 新授業「安全にインターネット」編 提供開始
- ・ 2020年 1月 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献対象 特別賞 受賞
- ・ 2020年 9月 「安心してお留守番」編をリニューアル
- ・ 2023年 4月 新授業「私たちができる防災ってなんだろう」編 提供開始



■ ノウハウの活用事例



「ドラえもん あんしん
・あんぜん教室」(小学館)
ALSOK監修



「お父さんは子どもを守れるか」
(日本教出版)
ALSOKあんしん教室 編著



「しまじろうのあんぜんかみしばい」
(ベネッセコーポレーション)
ALSOK監修 (非売品)



「めちやカワMAX!! 防犯・防災
イラストBOOK」(新星出版社)
ALSOK監修

小学生の防犯に関する意識調査

授業を実施したクラスの担任の先生には、授業の評価および子供の防犯に関するアンケートにご協力いただいております（任意）。

アンケートのうち、子どもの防犯に関するものは「担任の先生に聞く、小学生の防犯に関する意識調査」として集計結果を公表し、保護者や学校関係者向けの防犯啓発資料としてご活用いただいております。

～意識調査結果の一例～

防犯ブザーの所持率は学年が上がるとともに減少

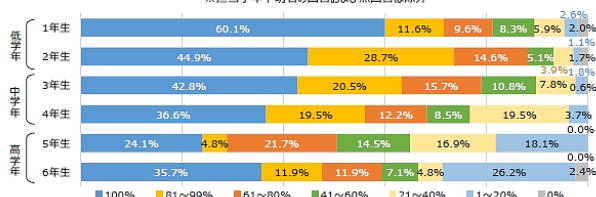
防犯ブザーの所持率について尋ねたところ、1年生では6割以上のクラスで全児童が防犯ブザーを持っていましたが、4年生以上に進級すると、所持率は4割を割り込んでおり、学年が上がるとともに所持率が下がる傾向が見られました。

自治体によっては小学校入学時に、全員の児童に防犯ブザーを配布していますが、日常生活を送る中で風雨や衝撃をうけて壊れたり、紛失してしまうことも少なくないようです。

子供に危害を加えようとする人物は、ほかの大人に発見されることが嫌いです。大きな音を出す防犯ブザーは、子供でも手をけん制できる上に、被害抑止効果が期待できます。保護者は、防犯ブザーが壊れたり音が小さくなったしていないかを定期的に確認するようにしましょう。

Q. 現在担当しているクラスの児童の、防犯ブザー所持率はどれくらいですか？
(回答者数、1年生303人、2年生178人、3年生166人、4年生82人、5年生83人、6年生42人)

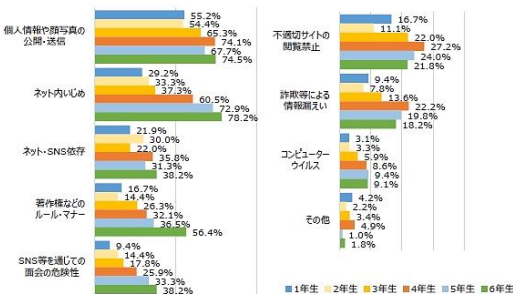
※担当学年不明者の回答および無回答は除外



「個人情報や顔写真の公開」や「ネット内いじめ」など「情報を発信する立場」としての注意点について指導するクラスが多い

担当しているクラスの児童にインターネットのリスクについて指導を行っているという先生に、どのような内容の指導をしているのかを聞いたところ、「個人情報や顔写真の公開・送信」という回答が最も多くなりました。全般的に、「情報を発信・閲覧する」ときに比べ、「情報を発信するときの注意点」について指導を行っているクラスのほうが多い傾向が見てとれます。

Q. どの内容を指導しましたか？
(複数回答、回答者数：1年生96人、2年生90人、3年生118人、4年生81人、5年生96人、6年生55人)



子供だけで留守番する機会が増える夏休みには留守番する前の約束「いいゆだな」など親子で確認を!

共働きや核家族化の進行により、留守番をする機会が増えたという児童も少なくないと思われます。過去に留守番中に不審者が訪問してきたり、不審な電話がかかってきた経験のある児童の有無を聞いたところ、10クラスに1クラスの割合で「留守番中に不審な電話や訪問者が来たことのある児童がいる」という回答がありました。

Q. 現在担当しているクラスの中で、自宅で留守番中に不審者が訪問してきたり、不審な電話がかかってきたことのある児童はいますか？
(単数回答、回答者数1,031人)



<https://www.alsok.co.jp/company/society/ansin/>



最新の統計結果は、ALSOK Webサイト内でご覧いただけます。